

会 議 録

会議の名称	第3回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成28年10月7日（金曜日） 午後2時00分から午後4時10分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 大会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 ■発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p>（1）事業評価</p> <p>（2）その他</p>	
審 議 内 容	
<p>（総務課長あいさつ）</p> <p>（欠席者報告）</p> <p>1名が仕事の都合により欠席。</p> <p>（委員長あいさつ）</p> <p>（資料説明）</p> <p>（1番健康福祉センター改修事業追加資料説明）</p> <p>○委員長：平成27年度は、需用費は700万円増えている。これが赤字に大きな影響を与えている。これは指定管理には出していないのか。</p> <p>○総務課係長：出していない。</p> <p>○委員：歳入と歳出の差は市がカバーしているのか。</p>	

○総務課係長：市の一般財源だ。

○委員：税金を投入して赤字分をカバーしているということか。

○総務課係長：そうだ。元々そんなに儲かる施設ではない。人件費もかかるので、どうしても採算はとれない。

○委員：私も赤字だからやめたらどうだという気はもちろんない。

○総務課係長：収入を上げるにはグラウンド等色々な使用料を値上げする等の方法になると思う。

○委員：企業とはやはり違う。

○委員長：収益事業になじまない内容である。整備すること自体が福祉事業になる。行政がやるしかない。いよいよ切羽詰まってきたらそうも言っていられないだろうが。

○委員：いつから切羽詰まるかだ。

○委員長：もう来年度から切羽詰まるのではないか。副委員長の意見も聞きたいところだ。しかし市の財政状況が皆様に広く訴えられていないから、突然予算を大幅に切ると市に対する批判が多く寄せられると思う。しかし、いずれ背に腹は変えられなくなる。

○委員：利用者も多いことから必要な施設だと言うことは分かる。しかし、どこかで優先順位をつけなければいけない。

○委員長：もしくは縮小するか。受益者負担か。使用料を2倍、3倍にするなどの受益者負担を多くするというのもでてくるかもしれない。

（継続）

（2番健康ウォーキング事業追加資料説明）

○委員長：いずれにしても他の事業との統合を検討し、内容見直し。

（内容見直し）

（3番健康マイレージ事業追加資料説明）

○委員長：歩数計を贈呈するほかにインセンティブもあるのか。歩

数計をあげるのだからそれでいいのではないか。参加者の表彰というのは必要だろうか。歩数計をもらうだけでもありがたいと思うが。

○委員：私もそう思う。

○委員長：インセンティブは歩数計をあげるということではないか。

○総務課長：新しい取り組みなので、定着するまでは魅力のあるようなものを出し、それから徐々になくしていくというようにするつもりだ。

○委員長：歩数計をもらえるだけでも魅力があると思うが。参加者全員に贈呈するので。金額は大した金額ではないが、こういうところから削っていかないと削るところがなくなる。参加者全員に歩数計を贈呈するということが参加者は集まると思うが。それで優勝して賞品をもらおうというところまで思わないのでは。市の財政状況から言ってそんなお金を出せるような財政状況ではないだろう。

(内容見直し)

(16番救急医療施設運営対策事業追加資料説明)

○委員長：これは杵築から行った人か。

○総務課係長：別府、日出、杵築でしている事業なので、その全体の人数だ。

○委員長：負担金は人口割りか。

○総務課係長：そうだ。

○委員長：結構利用者数が多い。しかし、山香病院の利用者は少ない。これを見ると必要なのかなという気がするが。

○総務課係長：山香病院の当番は月に3日程度だそうだ。

○委員長：月に3日程度だとますます救急医療としては必要ないのではないかということになる。杵築地域の方は山香病院まで行かないだろう。別府に行った方が早い。

(継続)

○委員長：では、今日は61番から。

(61番山村活性化支援交付金事業説明)

○委員長：これは中を見ると国庫支出金事業になっているので、よいか。

(継続)

(62番栽培漁業促進事業説明)

○委員長：市単独事業で、3年間で2,900万。必要なのだろう。

○委員：効果があるのか。

○総務課係長：漁獲量は、確認していない。

○委員：意味があれば構わないが。入れていても、あまり関係ないのなら。

○委員長：効果確認を財政課はするのか。

○委員：少なくとも30万匹撒いたら、毎年30万匹は獲らなきゃいけない。

○委員長：毎年は無理だろう。

○委員：放流した効果はないという事か。

○委員長：まあ撒いて食べられる分もあるだろうから。だけどこれ効果確認が必要。これだけ撒いたのなら何らかの効果を確認して、効果があるなら引き続きやりましょうと。逆にやらなかったら獲れないという事があるかもしれないが、効果確認はどうしているか知りたい。

○総務課係長：また調べておく。

○委員長：今後の方向性で効果確認と入れてほしい。

(継続)

(63番漁場環境保全創造事業説明)

○委員長：これは、事業主体が県で、負担金を出している。これは

よいか。

(継続)

(64番守江湾干潟再生事業説明)

○委員長：これも市単独事業だろう。アサリ、ハマグリ、これも効果がどんなものか。

○総務課長：ここ2～3年は大雨で獲れてないという事で、今ケアシエルを使って増やす実験を検討段階。

○委員長：これも3年間で上の事業と合わせると6,000万円近い金が出るので効果確認を。このところ潮干狩りはやってないのか。

○総務課長：はい。

○総務課長：観光資源の1つなので、やっぱりアサリの定着。

○委員長：やらないよりは、やった方がいいのは分かるが、状況が知りたい。貝だから、やらないとてきめんだめだろう。効果確認をお願いしたい。これだけの干潟があるから。

(継続)

(65番有害魚駆除委託事業説明)

○委員長：これも市単独事業。これはもう事業実績が出ているからよいか。そこら辺の魚が獲られてしまうのでこれはやらざるを得ないだろう。よいか。

(継続)

(66番林道元河内線開設事業説明)

○委員長：これについては、国庫、県費がついてやっている事業なのでよいか。

(継続)

(67番経営体育成基盤整備事業(通作条件整備：一般)藤ノ川・茅場地区説明)

○委員長：国からの交付金事業、事業主体が大分県か市に限られ

る。このところの意味が分からない。事業費を見たときに補助金交付金という事が見えない。

○総務課係長：確認する。

（保留）

（68番経営体育成基盤整備事業（通作条件整備：基幹）奈狩江地区説明）

○委員長：これも同じか。

○総務課係長：はい。

○委員長：まあ何もないのにする事はないと思うが、地方債の関係で入ってくるのかな。

（保留）

（69番中山間地域総合整備事業 日出・山香地区説明）

○委員：事業名に日出というのは何で出てくるのか。

○委員長：日出・山香地区となっている。

○委員：日出までやっているのか。ネーミングが悪いのではないか。

○総務課長：県の事業なので。

○委員長：県道だから日出山香線と名前がなっているのではないか。

○委員：そういう事か。

○委員長：その山香地域の負担になる分だろう。

○委員：日出まで工事をやっているのかと思った。

○委員長：それはないだろう。

○総務課長：県の工事の担当が、日出山香地区と分けていてやっている。

○委員：分かった。

（継続）

（70番多面的機能支払交付金事業説明）

(継続)

(71番中山間地域等直接支払事業説明)

○委員長：これは国庫が入っているので。農業の担い手の減少、国の施策、中身がよく分からないが。

○総務課長：傾斜勾配によって補助率が違うが、田舎の作りにくい田んぼを作ってもらうために交付金を出して維持して下さいという事。

○委員長：直接何かやるのではなくて、金を出しておいて維持してもらおうという事か。それで支払という言葉が出てくるのか。支払う事が事業になっている。分かった。よいか。

(継続)

(72番農道舗装事業説明)

(継続)

(73番経営体育成基盤整備事業(農業競争力強化基盤整備事業))

[中山間地型]小狭間地区説明)

○総務課係長：これは県事業で市の負担金。

○委員長：事業主体は大分県か市に限られていて、県がやっていて負担金という事か。

○総務課係長：県がやっているなのでその分の負担金。先程の通作条件整備の藤ノ川・茅場地区、奈狩江地区も同じ。

○委員長：それなら、さっき言ったところのペンディングは、全部継続でよいか。

(異議なし)

(全て継続)

(74番地域農業水利施設ストックマネジメント事業説明)

○委員長：これは国庫が入っている。事業主体は県で、国、県が70%。効率的な施設事業の保全を図り、かつ施設の長寿命化を図る。

○総務課係長：壊れてからよくするよりも、先に計画を立てて長寿命化を図るという事業。

（継続）

（75番創業支援事業説明）

○委員長：新規創業、新規開業、これは丁度、創業開業50万円、空き家空き店舗20万、これは市の単独事業。これだから、事業実績が、平成27年度が5件、空き店舗利用が2件あったという事で考えてよいのか。

○総務課係長：はい。

○委員長：では、実績が挙がっているならよいか。

（継続）

（76番観光振興事業説明）

○委員長：観光振興で、豊の国千年ロマン、観光圏等に参加している市町村と連携して事業を実施。これまでの改善は、外国語表記の案内看板を新設、見直しを行っている。観光振興だからやらざるを得ないだろう。平成27年度実績が、日帰り客数とか宿泊客数とか数値が書いているが、単年度だけでは分かりにくい、次から比較があるとよい。

○総務課長：増えてはいる。

○委員長：増えているならよい。

（継続）

（77番観光宣伝・観光客誘致事業説明）

○委員長：これも単独事業。観光協会と連携しながら、観光宣伝隊を行っている。杵築市のPRをしているという事で、中身は各種パンフレットの作成増刷が15万部、新聞雑誌等の広告宣伝件数が25件という内容。

○委員：大体年間に1,800万円使っている。よい事だと思うが、例えばパンフレットを作って置くというのは、定石の方法だと

思う。一般的にやる方法。こういうパンフレットを置いた時に、今お客さんが来てないのは知らないから来ないのか、知っているけど魅力がないから来ないのかわからない。毎年だらだら突っ込むより、逆に短期間でもっとお金を出してでも、杵築の魅力を本当に引き出す、作り上げる作業をした方がいいのではないかという気がする。毎年1,800万円かけてパンフレットを作って果たして効果があるのだろうか。否定している訳ではないが、やり方を変えたらどうかなという気がする。

○総務課長：定期的に、例えば国東半島なら国東半島の市と一緒に福岡に行ったり、東京でPR活動はやっている。それと今、福岡に国東半島でアンテナショップを持っているので、そんなところにも観光パンフレットを置いたりしている。

○委員：もう少し拡大して、3年位の短期間で計画を作って実行したらよいと思う。

○委員長：観光振興計画、観光振興宣伝のあり方。

○委員：難しいから結論は出ないが。

○総務課長：杵築市単独でというよりも、国東半島、国東市や豊後高田市等と一緒に活動することが多い。

○委員長：ネットワークで連携してやらないとしょうがない。それはわかるが、基本的な考え方として観光振興とか宣伝のあり方について、もっと効果が出るやり方を。多分、広域圏で協議していると思うので、5か年計画、長期計画等、その辺を確認するなり、もしなければそういう意見が出たと。続ける事はよいが、もっと効果的なやり方はないのかという意見が出たという事で、よろしくお願ひしたい。それでよいか。1,800万円が3年あれば5,400万円だから。

(継続)

(78番景観保全事業説明)

○委員長：これも市単独事業か。

○総務課係長：平成28年度審議会の開催費用。

○委員長：やらざるを得ないのだろうが、杵築市の景観について状況の報告。

○委員：これは、個人的には杵築市にはがんばってもらいたい。ソーラーがすごい。杵築の財産は自然と思う。それを手放している気がする。太陽光を見えない形にするとか、そういうことを事業者に要求するとか。市がお金を払う必要はないと思う。事業者がちゃんと周辺の環境緑化をやってくれるならば許可するとか。税金が入って来るからよしではなくて、市の財産なので、財産を切り売りしないように、ぜひ許認可は届け出になっているが、厳しく設定してほしいと思う。

○総務課長：規制する場合、中々上の法律との兼ね合いもあるので、悩ましいところではある。

○委員長：湯布院で揉めた。私有財産の問題、憲法上の問題と、景観保全の問題と。湯布院の太陽光発電がだいぶ揉めた。結局どうなったのかな。地元の方の意見がかなり盛り上がった。でも、なかなか規制するのは難しい。規制するとなると条例がいる。

○総務課長：大規模な場合は届け出制という事で、当然近隣住民の承諾がいる。

○委員長：その辺で事実上の行政指導の範疇で、抑え込んでいるという格好か。こっちの地方の財産は自然環境だ。あまり対応が遅れると何の魅力もなくなる。

(継続)

(79番まちなみ環境整備事業説明)

○委員長：これは、国庫入っているし、まさに今言われた内容。

(継続)

(80番歴史文化基本構想策定事業説明)

○委員長：国庫補助事業。中身は、基本構想を作るという事か。

○総務課係長：はい。文化庁の補助を受けて。

○委員長：国庫が約半分ついている。

（継続）

（81番合併処理浄化槽設置整備事業説明）

○委員長：これも大変な問題。国庫ついているのでよいか。

（継続）

（82番平尾台污水处理場施設管理説明）

○委員長：上下水道料で回収できるのか。

○総務課係長：料金収入は上下水道課に委託している。平成23年度に全面的な改修はし、その後維持管理は計画的に行っていく。

○委員長：管理費がかなりかかっているが、命を守る水だから、やらざるを得ないだろう。よいか。

（継続）

（83番資源ゴミ収集処理事業説明）

○委員長：これも市で、その他財源というのは何か。

○総務課係長：市内のいろんなゴミ集積場から運搬されてきた資源ごみ、ペットボトル等の選別を行って、リサイクル処理業者に売却し、その売却の収入を事業費に充当している。

○委員長：売却財源で出来るのか。なかなかよい。

○総務課係長：他の廃棄物の費用にも一部充てている。

○委員長：よいか。

（継続）

（84番環境衛生補助事業説明）

○委員長：これもその他財源が入っている。地域の環境衛生、ごみ減量化を進める、ゴミ処理事業費の軽減も図られる。スズメバチはここに入ってくる。

○総務課係長：スズメバチも入っているし、家庭で生ごみを処理す

るための機械を買う時の補助金、コンポストや食用廃油の回収事業の補助金等も入っている。

○委員長：一般財源の割合が少ない。よいか。

（継続）

（85番乳・幼児健康診査事業説明）

○委員長：一般財源、これ乳幼児の健診事業は市単独事業なのか。

○総務課長：これも一般財源化された。

○委員長：一般財源化、国がもっていたものが。仕方ない。少子高齢化が進んでいるから、やらざるを得ない。よいか。

（継続）

（86番妊婦健康診査事業説明）

○委員長：これも同じだろう。

○総務課長：健診事業もほとんどそうだ。

○委員長：一般財源化されたのか。入っているうちは入っている、入っていないうちは入っていない、分からない。

○総務課長：大枠が一緒なので、この分を新たに入れたら、今まであった分が縮小される。

○委員長：そうだろう。交付税全体が。

（継続）

（87番育児等保健指導事業説明）

○委員長：金額が少ない。市内産婦人科は実施していない。妊婦の健康診査等による小児科医による保健指導を必要とする場合に、小児科医を紹介する。紹介状を書いてもらう事業。あとは保健師が対応する。育児不安のある妊産婦、配偶者等、そういう人が対象。よいか。

（継続）

（88番未熟児養育医療費給付事業説明）

○委員長：国庫か。平成27年度決算は、一般財源が大きい。あと

は大体、国庫の方が大きい。養育医療費の給付を実施、結構大きな金額が出ている。出生時体重、在胎週数が足りないとか、先天異常、重症仮死、呼吸不全とか結構重篤なやつがあったのだろう。他の時は全部、国庫が4分の1、25%程度だ。これもよいか。

○委員：目的は、財政負担の軽減と書いているが、それはやっぱり重症になった場合に、市の財政負担の軽減という言い方は、やめた方がいいのではと思う。見た人がどう思うか。少し表現を変えた方がいいのではないか。

○委員長：市の財政負担の軽減を図るために必要だというよりは、家族の財政負担の軽減とか、そっちのネーミングで書いた方がよい。そこは要注意だ。

(継続)

○総務課係長：先ほどの特定財源は、ゴミ袋の収益金。

○委員長：そうか、ゴミ袋か。ゴミ袋高いから。しかし、負担してもらわないと仕方ないだろう。

(89番母子保健推進員活動事業説明)

(継続)

(90番食育教室開催事業説明)

○委員長：これも乳幼児に対しての離乳食教室、妊婦啓発とかそういう内容か。これも市単独事業だがよいか。

(継続)

(91番親子ふれあい事業説明)

○委員長：集団教育か。よいか。のびやか広場は12回で120組、わんぱくサークルは156人、かなり参加者がいる。よいか。

(継続)

(92番こんにちは赤ちゃん訪問事業説明)

○委員長：これは県支出金がある。県は4分の1か。県の事業はやらざるを得ない。よいか。

(継続)

(93 番不妊治療費助成事業説明)

(継続)

(94 番子どもの心を育む絵本事業説明)

○委員長：これは単独。実績としては、4、5 か月検診で絵本を配った。1 歳 6 か月が 2 0 1 名。2 歳児歯科検診で 1 9 8 名。よいか。

○委員：こんなことが必要なのか。財政が苦しい中で。親が自分で本を買ってやらないといけない。金額的には 4 0 万円ちょっとだが。

○総務課長：健診の受診率を上げる目的もある。

○委員長：来てもらったら絵本をあげるということか。しかし、ゆくゆくはなくなるだろう。厳しい状況になると。今はこれくらいの金額だから言ってもしょうがないが。厳しい財政になったら、こういうものは直接効果がないのでなくなるだろう。イベントをやって報奨金を出すのと同じで、来てくれたからこれをあげるというのはやめた方がいい。本来の趣旨からいって。来てくれてそこでサービスを受けるのがよいので、それに対して何か物をあげるというのは、これから先はカットになるだろう。とりあえず継続しておくが、付帯意見でカット必要と書いておく。

(継続)

(95 番放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブの運営事業) 説明)

○委員長：国庫が入っている。

○委員：なんでこんなにお金がかかるのか。

○委員長：委託費というか、放課後に家に帰っても親はいないので。人件費。

○委員：大きいお金だ。

○委員長：そのとおりだ。

○総務課長：今、ほとんどの小学校が必要という事で、全小学校で実施している。

○委員：それは、先生方に払っているのではなくてか。

○委員長：時間外になるので。

○委員：時間外の先生方か。

○総務課長：先生方というよりも、団体をお願いしている。小学校の中じゃなくて、違う所で、違う団体でやっている。

○委員長：だから結局人件費だ。主なものはそれしか考えられない。全小学校区での設置は達成できたが、全クラブでの小学6年生までの受け入れを達成するため、クラブ数の拡大が必要である。

○総務課長：今、小学校何年までとかいう制限がついているところがあるので5、6年生まで入れない。施設的に受け入れが少ない。

○委員長：そういう対象者が多いのか。

○総務課長：特に杵築の小学校。

○委員長：実績に人数を書いてくれるとよい。学年別の。

○委員：無料で預けられるのか。

○総務課係員：無料ではない。おやつ代等負担があり無料ではない。

○委員長：そうだろう。でないと皆預けたくなる。

(96番延長保育促進事業説明)

○委員長：保育園、子ども園での延長保育。これ国庫入っているの
でよいか。この辺も実績。どの程度の人数なのか数字が出てないので、
実績を書いてほしい。実際どの程度対象者がいるか。

(97番地域子育てセンター事業説明)

○委員長：これも国庫が入っているからいいが、ここも実績が実績
になっていない。金額が1万8,000円。全中学校区、3か所に
設置ができています。ニーズ調査の結果、ニーズ量を満たす実施量を

確保できている。県が設置目標としている中学校区に1か所の拠点も杵築市は達成できている。中学校区ごとの設置だが、さらに拠点を増やしたい。年間利用者数、どんぐり3,200人、ChaCha4,000人、さくらんぼ1,000人、かなりの人数いる。

○総務課長：そこは平成28年度の目標。

○委員：読んでいてもよく分からない。他の事業と重なってないのか。

○委員長：重なっていない。国庫が入っているから。それぞれ全部切り分けしている、

○委員：切り分けしているのか。重なっているような気がするが。

○委員長：それはない。国庫事業だからあり得ない。子育て支援事業の資料をワンペーパーで全体が分かるものがあれば。

○総務課長：事業をどういう風に、どんな人たちが携わっていると分かるようにか。

○委員長：そう。さっき言ったように、色々な事業が入っているので分からない。全体の簡単な図でよいので、どの事業で何をやっているかが分かるとうい。

○総務課長：これは保育園等に預けていない子ども。

○委員長：そうだろう。その辺が分かるとうい。

○総務課係員：平日の昼間に遊び場を提供するような形で、保育園の一室を借りて、その中で市内の親子が遊びに行つて、友達づくりをするような場の提供。

○委員長：193ページは未就学の保育園等に預けていない子育て中の親と子ども。191ページは、保育園に入園させている保護者で開園時間内に迎えに行けない。189ページは、放課後児童クラブを利用する小学生および幼稚園。区分けがある。よいか。

(98番一時預かり促進事業説明)

○委員長：一時預かりは、小学生になるまでの市内全児童、これも

国庫でよい。重なりはないと思うが。

○総務課長：一時預かりなので、通常は行っていない人。

○委員長：延長保育は拡大になっているが、意見はどうするか。ごめんなさい、その1つ前の95番も、所属長と総務課長は拡大になっているので、委員会はどうか。一緒によいか。

(異議なし)

○委員長：では、次の96番も拡大でよいか。97番は継続でよいか。一時預かりも拡大になっているので、よいか。

(異議なし)

(拡大)

(拡大)

(継続)

(拡大)

(99番子ども医療費助成事業説明)

○委員長：県が入っている。これ実績が多い。通院は未就学時までの児童、入院は中学生までの児童。県支出金が入っているのでよいが、金額がかなり大きい。4,000万円。これは確かに助かるだろう。これは、所属長は拡大、総務課長は継続、これで足りているか足りていないか分からないが、そのところで判断。

○総務課長：年々実績が上がっている。無料なのでどうしてもすぐ病院にかかる。

○委員長：何でもそうだ。でも、子どもの数は減っているのだろう。一応、継続にしておくか。

○総務課長：今は、中学生まで無料に拡大するか検討している段階なので、通院も。

○委員長：交付税も入っているのか。県もか。

○総務課長：いや、確か県は小学校まで。それに上乗せして、市がやっている。

(継続)

(100 番 健やか子育て支援事業説明)

○ 委員長：これは、その他財源、未就学児童までの児童。

○ 総務課係長：これも上乘せ。

○ 委員：上乘せ分。入院は無料じゃなくて。

○ 委員長：一日 500 円。月 14 日 7,000 円までを超える負担について、助成する。県の補助の上限を超える分について補助する。

○ 委員：前が無料だから、もういらぬのではないか。そういう事ではないのか。

○ 委員長：いや結局、上乘せ分だから、超える分の医療費。未就学児童までの児童に対する通院、入院費及び小中学生の入院費に対し、県が 1 日 500 円補助するので、それを超える分については市独自で補助をするという事か。

○ 委員：その前の 99 番では、無料と書いているが、上限があるという事か。

○ 委員長：県の助成単価が 1 日 500 円と書いている。地方創生の予算が数年しかないけど、これを充てている。今のところは。これについては継続でよいか。

(継続)

(101 番 ひとり親家庭医療費助成事業説明)

○ 委員長：これについては、子どもが 18 歳になるまで、保護者も子どもも医療費かからない。保護者もか。これは、所得制限あり。県費が入っている。よいか。

(継続)

(102 番 大分にこにこ保育支援事業説明)

○ 委員長：保育所等を利用している第 2 子以降、3 歳未満児の保護者が対象で、保育支援事業という事で、第 2 子は保育料の半額、第

3子は無料という事で、これは県が入っている。今、少子高齢化対策で、いわゆる多子世帯家族に対する支援を厚くするというものだ。子どもの数を増やしましょうというもの。よいか。

(継続)

(103番特定教育・保育施設利用者負担金単独補助説明)

○委員長：市単独事業。事業内容は、保護者の経済的負担を軽減するという事で、市基準の利用者負担額を定め、国基準との差額の独自軽減。これ金額正確なのか。

○総務課係長：要は保育料を軽減しているという事。

○委員長：分かった。

○総務課係長：国の基準ではなく、軽減して利用者の負担を少なくしている。

○総務課係長：これ国庫も、県も入っている。よいか。

○委員：特定教育というのは何か。

○総務課係長：保育園、幼稚園、子ども園。

○委員：すごいお金だ。

○委員長：国や県も入っているから。

○委員：その他財源、杵築市だけでも3億近い、これはさっきの差額分のお金が、これだけ出てくるのか。

○委員長：市基準の利用者負担額、国基準との差額。

○委員：だけど何となくアンバランスさを感じる。幼稚園、保育園、子ども園に入っているご家庭に8億5,000万円のお金を使っているというのは。

○委員長：8億5,000万円って、これは杵築市だけだろうか。

○総務課係長：実際の差額分は、8,200万円。これは全体だと思う。

○委員長：市の負担額は、事業実績のところ、8,200万円。これは全体事業費だろう。8億5,000万円というのは、ちよっ

と違和感がある。その下側の事業実績のところに、市義務負担額より、8,240万円を市単独として多く支出している。こういう事だから、こっちの金額だろう。

○総務課係長：はい。

○委員長：8,200万円でも結構大きい。

○委員：これは、子どもが行ってないところからしたら、なんでこんなにお金を、となる。

○委員長：ただ、子育てが国策の重点事業だから。国の施策をここに集中させる。財源は高齢者からの財源を持ってくるので、年金特別控除や、終末医療の見直しとか色々入ってきているので、これから先、高齢者もだんだん厳しくなる。財源が限られているから。よいか。今のところ、そういう事で理解して。よいか。

(継続)

(104 番杵築市子育て世代包括支援センター説明)

○委員長：杵築市の妊産婦から子育て世代の家庭が事業対象で、ワンストップ。これも国庫と県費が入っている。これ3分の1ずつ。新規事業。

○委員：これは前にあった事業と重なっていないのか。

○委員長：それはないだろう。国庫と県費が入っているから。妊産婦から子育て世代の家庭が受益の対象。事業の目標、妊娠時から見守り強化のため、妊娠届出者スクリーニングを100%行って、養育困難家庭が自立できるよう、全戸において要保護児童等、支援プラン作成を行って、月1回の要保護児童の対策会議を行って、月1回の地域包括ケア会議で子育て関係者の協議を行ってと、要は会議のための費用。

○総務課係長：相談体制を確立したという事。

○総務課長：要は育児に問題があるところの対策本部のような感じ。

○委員：個々の活動で、それが起こらないようにカバーしているのは、前と同じ事業。

○委員長：個々の活動を行うための計画づくりとか、実態把握とかそんなところではないか。

○総務課長：例えば子どもの虐待とか、障害児を持っている方の相談。普通に生活するためにはどうしたらいいか等の相談窓口みたいな感じのところ。色々な職種の人が集まって、どういうサービスの提供をしたらよいかの相談をする。

○委員：私は最後に言おうと思ったのだが、拡大をするならば、それに見合った分の他の事業を縮小すべきだと思う。すごく杵築市は苦しいと言っていた。それだったら、削ってでも、これは増やすというような。委員長は重なっていないと言われて、多分そうだろうが、平成27年度はなくて平成28年度からする。逆にそれが不思議だ。今までなくても運営できていたのに改めてできて、今からそのために人を増やす、ものを増やすのだったら、箱物行政となんら変わらないのでは。

○委員長：これ国の新規でできたのか、国であったのだけど杵築市が対応してなかったのか。その辺は分からないが。

○総務課係長：新たな施策。

○委員長：国の方の新たな施策か。

○総務課係長：うちがモデルでやる事業。県内初で。今まで障害者の人達は、保護者が泣き寝入りしていた。そこに行政が入って行く新たな施策。

○委員長：だから国庫で新規で県もついでいて、厚労省は似たような事業は沢山あるけども、全部切り分けしている。

○総務課係長：今までうちが地域ケア会議といって老人に対して要介護の人をなるべく要支援まで介護がないようにしようとしているが、その子ども版。早い段階で、悪くなる人を抑える。

○委員長：今度全体で予算規模を見て、増えた分については全体としては財政状況を見たときに、適正財源の確保という事になるだろう。最後に言われたように。いたずらに地方債に頼るのではなく。財政状態が喫緊の状態になっているので、そのところは全体でやるしかない。拡大と書いているが。新規だから。状況を見ながらとするか。

（拡大）

（105 番杵築中学校改築事業説明）

○委員長：これも国庫が入っている。改築事業が必要なのかという話もあったが、これは老朽化が進んでいるので、耐震化だからやらざるを得ない。継続で仕方ない。かなりお金がかかるが。安全に直結する事なので、これはなかなか難しい。まあその基として、統廃合問題とかを進めないといけないのだろうが。またこれ大変な事になる。最後に書くか。行政の一層の効率化等を。

○委員：この費用の中に、文化財が出てきたから文化財を保護し調査する、その費用も入っているのか。

○総務課長：文化財調査は別。

○委員長：ただ事業計画の変更が入っている。

○総務課長：試掘は入っているが、保護は入っていない。

○委員長：保護は別。

○総務課長：ここら辺は建物を建てる時に全部試掘しないといけないので、その費用は確か入っている。

○委員長：やらざるを得ない。

（継続）

（106 番杵築小学校大規模改造（空調）事業説明）

○委員長：これは全部、小学校の大規模改善、今度は空調か。空調整備、これは国も県も入っているので仕方ない。

（継続）

(107 番学校教育支援センター事業説明)

○委員長：これは一般財源。不登校傾向の児童の大きな支えとなっているとのことなので、これも継続せざるを得ないだろう。

(継続)

(108 番教育立市プラン推進事業説明)

○委員：これはずっと以前からやっているのか。

○総務課長：いえ、教育立市プランは、平成25年から。

○委員長：すべての対象学級に支援教諭を配置するのか。時代の流れはそういう風に向かっているのだろう。

○委員：この中に人件費が含まれているのか。

○委員長：置かないといけないのだろう。昔、我々の時は先生1人で55人くらい見ていたが。あまり言うとな怒られる。

○委員：学校の先生も増やしているのか。

○委員長：人件費。もう仕方ない。

○委員：内容見直しだと思う。

○総務課係長：やっている内容はいい事だと思うが、やはり教育宣言をしているので、拡大にはならなくてももっと違ったアピール出来る事業をすべきじゃないかなという事で、もっと内容を検討すべきだという事で、見直しとした。

○委員長：財政状況を考えた時に内容を十分検討してほしいとしよう。

(内容見直し)

(109 番児童・生徒学習状況把握調査事業説明)

○委員長：一般財源。学力調査を見据え、小学校3年から中学2年の幅広い学年で実施している。

○委員：全国学力調査をやっている。あの結果を伝えないのか。わざわざ別に試験をするのか。

○委員長：拡大になっている。

- 委員：わざわざ。そう理解でいいのか。
- 委員長：これまでの改善計画。県や全国学力調査を見据え、小学校3年から中学校2年まで、幅広い学年で実施している。だから多分国や県がやっている学力調査が一定学年じゃないのか。どうなのか。ちょっと内容がよく分からない。
- 委員：資料の目標に書いていることは。
- 総務課係長：全国調査で良い点数をとるために、予備段階で結果を見てという事だと思う。
- 委員長：必要かどうか。拡大になっている。
- 総務課係長：年度の初めに調査をする。
- 委員長：良い点をとる為に先行調査をやる必要があるかどうか。本番を活かして次に活かしたらいいのではないか。
- 委員：私もそう思う。
- 委員：何で調査するのか。
- 総務課係長：テスト。
- 委員：テストの結果をもう一度調査するのか。
- 総務課係長：テストの結果を見てどの部分が弱いのかを見て、教育方法を変える。
- 委員長：全国調査で良い点を取りたいから事前にやっておきたいという事だろう。
- 総務課係長：良い点というかレベルを上げるため。
- 委員長：レベルアップのため。結局それは全国調査の結果をみてやれば良い話ではないのか。内容見直しで、必要性に疑問。
- 委員：先生たちにやってもらうとかできないのか。
- 委員長：民間に委託にするのだろう。穿った見方をすれば自分たちが恥をかきたくないから事前に。それが違っていれば変えるが、一応内容見直しで。必要性に疑問がある。
- 総務課係長：19年度からやっている。

○委員長：敢えてやる必要があるのか。全国調査の内容は細かく伝えられないのか。教育委員会から学校現場には伝わるのではないか。公表ではだいぶん問題になったが。伝わるならその結果を見てやればいい話で、敢えてする必要はないのでは。これ業者がけしかける。やった方がいいと。やらないよりはやった方がいいが、そういう事であれば疑問があるという事で。よいか。

（内容見直し）

（110 番杵築市教育情報化事業説明）

○委員長：文科省の教育のIT化に向けた教育環境整備に基づき、設置学校を限定しない可動式コンピューター（タブレット）1校40台、電子黒板全小中学校。これ文科省のそういう計画に基づいてあるのなら国庫補助金が入っていいはずだ。平成27年度はいいが、それからは1,600万円、3,900万円、4,400万円。趣旨は分かるが、Eラーニング、アクティブラーニング、これ財源措置はしないのだろうか。無線LAN、タブレット端末の配置、電子黒板、これは市独自でやるといったら何か違和感がある。

○委員：電子黒板とは何か。

○委員長：黒板に書いたらコピーが取れる。パソコンに入れる事が出来る。

○委員：生徒が書く必要がなくなるのか。

○委員長：まあそういう事になるだろう。タブレットに出る。私が知っている範囲ではコピーがとれる。多分タブレットでも取れるのだろう。先生が書いているやつを。

○委員：先生が書いた字を綺麗にしてくれる。そういう機種がある。

○委員長：高いやつは。要は手書きで書いたやつが、ちゃんとした字になる、今はパソコンだってしゃべったやつが字になる時代。

○総務課係長：単費だそうさ。

○委員長：単費か。でもやらざるを得ないだろうが。時代の流れだ。拡大とは書いているが、これ単費であれば。やらざるを得ないだろうが重たい。義務教育だけれども。

○総務課係長：聞いたらないと言っていたが何かあっていい。

○委員長：絶対必要だ。これ財源問題は別として、これも必要だろう。

○委員：必要。与えるのか、貸すのか。

○委員長：与えることはないだろう。与えたらこれは個別補助になる。だから学校に置いておいて、それを増やしていくのだろう。全部に配置していくとこれだけかかるだろう。

○委員：でもやっぱり全体の予算を見ながら、拡大じゃなくて手持ちの財布を見ながら考えないと。

○委員長：それは全体で入れないと。この事業だけで入れても。全体のところで言おう。世の中の流れがIT化が進んでいるので、そこで財源問題を出して、ブレーキをかけるとちょっと問題になるかもしれない。全体の事業の中でそれを言おう。財源構成に問題がある。

○総務課係長：私も少し書いたが、タブレットを入れるのはいいが指導者が不足している。市の担当に負担がかかって来ているのが現状。

○委員長：教育委員会が全部教員の採用試験で、情報系の試験をやっていないのだろう。ましてや小学校になると、ものは入れたけど、教えられないでは話にならない。ここのところ拡大だけれども、意見は総務課長と同じでよいか。

(拡大)

(111番市立図書館全面改修事業説明)

○委員長：もう動いているからしょうがない。

(継続)

(112 番男女共同参画社会の実現説明)

○委員長：金額が少ない。これも仕方ないだろう。

(継続)

(113 番横断一号線(西溝井工区)道路改良事業説明)

○委員長：ここからはずっと道。国庫入っているのでよいか。

(継続)

(114 番本町田平線歩道設置事業説明)

○委員長：これも国庫が入っているのでよいか。

(継続)

(115 番市駅錦江橋線道路改良事業説明)

○委員長：これも国庫入っているので、よいか。

(継続)

(116 番出原中島線道路改良事業説明)

○委員長：これは入ってない。地方債だがやらざるを得ないのだろう。地域住民の安全利便性の向上。

(継続)

(117 番大左右線道路改良事業説明)

○委員長：これも地方債。これも改良だからやらざるを得ないのだろう。

(継続)

(118 番北奈多線道路改良事業説明)

○委員長：これも地方債、やらざるを得ないだろう。

○委員：空港に行く途中に、奈多海岸の所で工事をやっている。あれがそうか。

○総務課係長：あれは国道なので、この工事はそこから少し入った所。

○委員：あの工事は杵築市がしているのではないのか。

○総務課係長：国道なので県。別府土木事務所。

○委員：私あれだったらやめてほしいと言おうと思っていた。何のためにやっているか分からない。

○総務課係長：あれは多分歩道設置。

○委員：そうだろう。無駄な事をやっているなと思っていた。

(継続)

(119 番山中線道路改良事業説明)

○総務課係長：雨水等が、側溝がないので雨が降った時に家の敷地の方まで流れていく。

○委員長：分かった。道路の下手にある民家への流入が妨げられるという事か。

(継続)

(120 番県施行土木事業負担金説明)

○委員長：県施工土木事業負担金、これは仕方ない。

(継続)

(121 番橋梁長寿命化修繕事業説明)

○委員長：仕方ない。これ国庫入っているから。

(継続)

(122 番港湾建設費説明)

○総務課係長：守江港は県が管理しているが、その事業の市の負担金。

○委員長：市の負担金。しょうがない。

(継続)

(123 番コミュニティバス運行事業説明)

○委員長：これは県費。やらざるを得ないだろう。

(継続)

(124 番乗合タクシー事業説明)

○委員長：これは市単独事業。市内の交通手段を持たない高齢者等の利便性を目的とした乗合タクシー。実績は、運行率47.3%、

一便あたり乗車人数は2人。利用者については増加している。利用者数は載ってない。この辺、利用者数を載せてもらおうとよい。運行率47.3%というのは何に対してか。

○総務課係長：電話で予約があって初めて動くが、設定している路線に予約がなければ行かないという事なので、半分位使っているという事。

○委員：コミュニティバスと乗合タクシー、どちらがコスト的には有利なのか。

○総務課係長：乗合タクシーの方が安いと思う。

○委員：乗合タクシーの方がか。

○総務課係長：空で走る事がないので。コミュニティバスは走る。タクシーは、乗る人がいない場合走らない。

○委員長：コミュニティバスは、委託か。

○総務課係長：はい。

○委員長：要は費用対効果。

○委員：使う側からした時に、どっちが便利か。

○総務課係長：コミュニティバスの方が地域の人が喜ぶ。

○委員：そうなのか。

○総務課係長：乗りたい時に乗ればいいので。コミュニティバスは時間が決まっていて、タクシーは登録制だったり、自分で電話をかけて、ここに来て下さいと言わないと来ないのでめんどくさい。

○委員長：えっコミュニティバスの方がいいのか。

○総務課係長：コミュニティバスに自分の所を走ってもらいたいと思っている人が多い。

○委員：1日に1便しか来ないのではないか。

○総務課係長：多分タクシーもそうだ。いつでもいいわけではなくて、何曜日の何時からその時間帯は行く。と、縛りがある。いつでもいいわけではない。コミュニティバスよりも更に不便。一番いい

のはバス路線が走っているのがいいが。毎日、決まった時間に走るのが一番なのだろうが。コミュニティバスがなくなった路線が乗合タクシーになっている。

○委員長：タクシー会社もそうだ。忙しい時間帯、タクシーが足りない時に回したら、商売にならない。タクシーが遊んでいる時間帯に回すということになるのか。費用対効果を見ながら内容を見直し。

(内容見直し)

(125 番過疎バス補助金説明)

○委員長：昔県がやっていたが、市になったのか。要は公共交通を維持するために、バス会社に補助金を出しているという事だろう。

○総務課係長：地域の人はこちらが一番嬉しい。毎日決まった時間にバスが通っているので喜ぶ。

○委員長：金額は800万程度だが、利用者数あたりの原価を把握しているといい。これに、系統数、補助金額、利用者数を入れてくれるとよい。ではこれは継続でよいか。

(継続)

(126 番鉄道駅舎管理委託事業説明)

○総務課係長：中山香駅が無人化になるので、委託して、発券等の業務で人を1人

○委員：無人化なのになんで人が要するのか。

○総務課係長：今まで人がいたが無人化だと困るので。

○委員長：無人化にしたらいけないのか。

○委員：何が困るのか。

○委員長：JRと杵築市がもう業務委託契約を平成28年4月1日に結んでいる。しかし7時から13時じゃないか。

○委員：無人化じゃない。

○総務課係長：JR九州が今まで人を置いていたのを置かなくなった

から市が人を雇って置くという事。

○委員：それをやめたらどうなるのか。無人化で13時以降はいないのだろう。その時間は人が多いからという事なのだろうが、その後結局機械が対応しているなら一緒に気がする。

○総務課係長：定期の購入だとか、長距離割引切符だとか。その手数料が入ってくる。

○委員長：それでその他財源になっている訳か。

○総務課長：売り上げの何%か入ってくる。

○委員：事業的にマイナスならしない方がいいのでは。

○委員長：いや地元の利便性の確保だろう。定期を買うのに人がいないと買えない。しかし、定期は中山香で買わないでも別府で買える。

○総務課長：割引切符や往復切符等を買う時。あれが買えない。自動販売機が使えないので。だから極力使ってもらえれば手数料が入る。

○委員長：使ってもらえれば手数料が入るので、それはその他財源。もう契約を結んでいるので仕方ない。利用促進を図ること。

(継続)

(127番公共下水道事業説明)

○委員長：国庫が入っている。金額は大きいがこれは国庫事業でやらざるを得ない。

(継続)

(128番特定環境保全公共下水道事業説明)

○委員長：これも国庫。

○総務課係長：公共下水道事業は旧杵築が範囲で、特定環境保全公共下水道事業は山香。

○委員：なぜ分けるのか。一緒ではいけないのか。

○総務課係長：元々の財源というか国とかの補助金だったり、国庫

の支出金だったり、たぶんメニューが違う。

○委員長：それによって、微妙に助成率が違うのだろうか。優先性の高いものと、優先性の低いもの。

(継続)

(129 番相原簡易水道拡張事業(熊野地区水道施設整備)説明)

○総務課係長：水道が今まなかった地域。

○委員長：簡易水道を上水道に統合予定。平成29年度で終わるのか。

○総務課係長：はい。

(継続)

(130 番配水管整備事業(老朽管更新)説明)

○委員長：これは、その他財源。何か入るのか。

○総務課係長：水道料金が入る。

(継続)

(131 番水道施設第1次拡張整備事業説明)

○委員長：浄水場を更新すると言っていた。お金かかるのだろうがやらざるを得ないのだろう。

○委員：これはいつまで続くのか。

○総務課係長：最初のページに書いているのが、平成30年度から平成32年度の3か年で建設。

○委員：施設が老朽化していて使えないのか。

○委員長：漏水事故の軽減を図り、安定した水道水の供給を行うとあるから、やらざるを得ないだろう。

○総務課係長：これも計画の見直しをして遅れた。当初の計画が高すぎたので。

○委員長：相当お金かかる。けどこれで計画を立てているならやらざるを得ない。

○委員：あとはもう建設の競争入札でどれだけ落とすか。

(継続)

(132 番情報化推進事業 (システム) 説明)

○委員長：それぞれシステムを入れていかないと仕方ない。これも言われるようにガンガン入札をやってもらうしかないだろう。

○委員：こういうシステム化をやるから人が減る、便利になるけどお金がかかるではあまり意味がない。人件費を切るよりも、人件費を使ってでもやる方がいいと思う。

○委員長：こういう物を入れて合理化されてきたら少し職員数を少し考えないといけなくなってくる。

○総務課係長：今までどおりのやり方をやっていたら、もっと沢山の人がいないとできない。事業量は増えているが、人は増やせない。そこを効率化するにはこういった電算システムが必要。

○委員：それだったら必要だと思う。それならいれたらよいと思う。

○総務課係長：それとやっぱりマイナンバーの導入を受けてセキュリティー対策というところも膨れ上がっている。

○委員長：県の方のセキュリティー対策も、相当お金がかかると言っていた。

○委員：額が大きいから市民からすればどれだけの効果があるのかと思う。

○委員長：これはやらざるを得ないだろうからいいが、費用対効果の確認。また全体で一言書こう。

(継続)

(133 番地域おこし協力隊設置事業説明)

○委員長：これも人件費。6名か、これはよいか。

○総務課係長：国の事業。

○委員長：3分の1国庫のようだ。特別交付税だから結果が出ないと分からない。これは継続でよいか。どこの市にも今入っている。

(継続)

(134 番住民自治協議会の支援説明)

○委員長：これは仕方がない。均等割りと人口割りで拡大になっている。

○総務課係長：今後は自治協にお金を出して、地域で出来る事は地域でやってもらう。例えば、農道の舗装みたいに原材料は出すが、打つのはそっちでやって下さいというようなやり方をしていこうと思う。その分に見合う分は出して、なるべく地域のみんなでやってもらう。

○委員長：さっきのコンクリートは提供して地域で作って下さいとして道路を作る。これも拡大でいいから、費用対効果。

○総務課係長：特に今から地域づくりという事で、自治協の活動をもっと活発化させて行くということだ。

(拡大)

(135 番学生チャレンジ事業説明)

○委員長：市内外の学生を対象に、地域課題の解決チャレンジを取り組んでもらうという事で、大した金額ではない。色々な市内外の学生、若年層の目線で人口定着や交流人口の増加、地場産業の活性化など、地方創生をテーマに課題解決策を提案してもらおう。モデル策を実施し、本格的な市の取組みにつなげていく。

(継続)

(136 番ふるさと杵築応援寄附金 (ふるさと納税) の充実説明)

○委員長：ふるさと納税の充実、これは継続。寄付金件数は2, 106件で、寄付金額が1億円か。返礼の品数が81品。1億4, 200万円かかった。その他財源というのは、寄付金をもらった分がその他財源になっているのか。

○総務課係長：入った寄付金を基金に積み立てるので、この表の中だとその他で基金の方に積み立てる。その他で支出したような格好

になっている。1億400万くらいが基金に積んでいて残りの分が返礼品の金額。

○委員長：分かった。

○委員：そういう風に見るのか。

○総務課係長：3億寄付があった場合に、その半分を特産品等返礼品で使う、入った分の3億は基金に積み増す。ということでこういう記載の仕方になる。

○委員：4億6,200万円使うという事ではないのか。

○総務課係長：はい。3億は入ってきた分を基金に積む。

○委員長：支出額を書いているが、基金に出ていく。

○委員：ものすごい赤字じゃないか。もうやめたらと思っていたが違ったのか。

○委員長：だから各市町村が一生懸命やっている。

(継続)

(137番地籍調査事業説明)

○総務課係長：これは国土調査法に基づいている。これはもう計画的にずっと行っている。

○委員長：国庫。よいか。

○委員：今までも地籍調査やっているのだろう。

○総務課係長：はい。

○委員：まだやってない所があるのか。

○総務課係長：終わるのにまだ何十年かかかる。そういう計画。

○委員：こんなに金がかかるのか。何にかかるのか。

○総務課係長：調査や登記もしないといけない。だからなかなか終わらない。

○委員長：事業評価はまとめてもらわないといけないので、まとめてもらい、その他の項目は。

○総務課係長：今回のものをまとめたものを次回配布するが、今度

の第4回目ではアクションプランの評価をしていただきたい。

○委員長：アクションプランは最終年度か。

○総務課係長：アクションプランは平成28年度までだが、今年度評価するのは平成27年度の方。

○委員長：これまでやっているのをずっと見ていきながら、進捗状況はどうだとか、どうしてこうなったかということ審議する。

○総務課係長：次回、第4回はアクションプランと今回と前回でやったこの事業評価の報告書の案を作るので、それを見て頂こうと思っている。

○委員長：原案に、今話したように継続になっているものもあるが、限られた財源でかなり財政状況も厳しくなっているので、費用対効果の確認をやる事と、新規事業等については財源確保をいたずらに地方債に頼る事なく特別の配慮をお願いしたい。要は予算規模があまり増大して行かないように、というようなことを入れてもらおうとよい。

○総務課係長：はい。たたき台を作る。

○委員長：それで足りないところはまた考える。

○総務課係長：あと副委員長に、ある程度資料を見て頂いて、何か意見があるところは、意見を頂きたいと思う。

○委員：方法論になるが、さっき委員長が言われたがこれ1つ1つ見て行くと、なるほど確かにいる、いる、と思う。でも、大半が継続になっていって私が感じたのは、全体の予算としてこれから厳しくなっていくので、やっぱり本来は絞っていかないといけない。ほとんど同じスライドになっている気がする。だから、前年度の予算に比べて、今年度ここは切っていく、ここは増やしていく、トータルとして減っていくというようなことを市の中で皆が認識を持つようにしていただかないと。多分やっている人は自分の事業が1番だと思うから、絶対去年どおりだとなると思う。

○委員長：個別に見て行ったら決まらないので、全体枠でシーリンクをかけ、全体で対前年度予算の何%減等考えて、それをどこで負担するかという事を考えてもらうしかない。個別に見た場合は仕方ない。継続とは言いながら、1%減にしていくと、全体では相当違う。その辺の事を少し報告書の中に入れてほしい。費用対効果とか財源、それから、今後の財政状況を鑑みた場合に、総額で減らす努力をしてもらわないといけないというところはある。個別で10%カットとはなかなかいかないので。それは全体の中の重要性を見ながら個別配分はしてもらわないといけないが、全体は少なくとも伸ばしてはいけないし、どの程度減らさないといけないかも、財政課の方ではもうおわかりだろうから。その辺ちょっと書いてもらわないといけない。個別個別はいいが、全体を合わせるとよくないというようになってくる。みんな集まると継続になってしまうので予算減にならない。後は、みんな痛みを分け合う感じ。きついところだがやらざるを得ない。来年は、赤字になるだろう。その時になって、みんな初めて分かる。我々は分かっているからきつい事を言うが。費用対効果等を考えながら、執行保留というのもかけられるのか。

○総務課長：それは事業による。

○委員長：それはそうか。何%保留しなさいというのは。あとは言われたように入札。入札でいかにたたか。でもあまりたたくと安全性の確保が難しい。では日程。次回は10月28日の14時からお願いしたい。

○総務課係長：アクションプランの資料のご一読をお願いしたい。

○委員長：今日は2時間お疲れ様だった。

○総務課長：ありがとうございます。